

2022（令和4）年度

事業計画書

特別養護老人ホーム柏松苑

地域密着型特別養護老人ホーム柏松苑別館穂の香

村田町デイサービスセンター

谷山介護支援センター



社会福祉法人柏松会

近年、とくに介護分野において、事業存続に直結するリスクや課題が増加している。パンデミックから2年が経過してもこの歴史的緊急事態に終息の兆しはなく、特養やデイサービスでは依然クラスターと背中合わせの緊迫した日々が続く。自然災害では数十年、あるいは数百年に一度という特別警報クラスの豪雨災害が続げざまに発生し、各地の高齢者施設に甚大な被害をもたらしている。また、続発する地震や火山噴火は震災から11年が経ったいまも私たちに次の巨大地震への警戒感を募らせる。

外からの災害だけでなく内部のリスクも増えている。介護サービスには常に転倒や骨折、誤嚥などの事故の危険が伴うが、近年、利用者の重度化や認知症状をもつ利用者の増加により介護現場の事故リスクが上がっている。また、現場の人員不足に起因する事故も増加しており、こうした剣呑な状況下では言葉での抑止（スピーチロック）や過剰な行動制限といった不適切なケアが常態化するリスクも高まる。実際、利用者のQOLを脅かす人権に関わる問題はいまや介護の領域を超えて世上一般の関心するところとなり、露骨な身体拘束は減ったものの、現場の虐待件数は減っていない。

介護離れや人口減少等による介護分野での人員不足が年々深刻さを増しており、人手が足りず閉鎖に追い込まれる事業所が増える一方で、有給休暇の消化や残業削減をテーゼとする働き方改革が2019年以降、企業の経営課題として義務化された。この二律背反（人手不足と労働時間削減という矛盾）を止揚する手立ては労働生産性を高めるほかないが、ムダの削減や省力化というかたちでの安易な生産性向上は、生身の人間を相手にするこの仕事ではサービスの質の低下を招く危険が伴う。そのため効率化が進まず労働負荷ばかりが増大する恐れがあり、そこに現下のコロナ禍による終わりなき感染対策の負担が加わっている。言わば、こうしたストレスフルな労働環境がサービスの質の低下、介護事故、虐待、いじめ、ハラスメントなどの培地ともなり、それがまた離職や介護離れにつながるといった負の循環を形成しており、介護サービスを取り巻く課題は山積している状況にある。

こうした情勢を踏まえ、本事業計画では、どのような厳しい状況下でも利用者の生命を守り、可能なかぎりサービスの質を担保できる強固な仕組みづくりを各事業所の喫緊の課題として設定した。もとより、個々の生活と生命を守り、安心安全を保ち、人として普通に暮らしたいと願う利用者の心情や矜持に寄り添うことが私たちの仕事の真髄であろう。したがって新年度では、介護サービスの「核」の部分を確認しながら、内外のリスクに迅速に対応できる「守れる」仕組みづくりを進めていく。

感染症対策では、新型コロナとの闘いで得た知見と経験を活かし、感染症全般の水際対策を強化するとともに、陽性者発生時における迅速かつ有効な対応を可能とする感染防止システムの最適化を行う。防災対策では、消防計画と非常災害マニュアルの更新及び事業継続計画（BCP）の策定を柱に、激甚災害発生時にもダメージを最小限に抑えられる組織の強靱化と防災体制の構築に取り組む。

安全対策は、事故予防とサービスの質の向上を一体的な取り組みと位置づけ、科学的介護情報システム（LIFE）を活用した栄養ケアを含む個別計画の見直しを進めつつ、個々のリスク評価と過去の事件事例の原因分析などを行う。また、虐待や不適切なケアの予防対策では、事業所間（例えば、柏松苑—谷山センター、村田デイ—穂の香など）における体験実習や交流研修のほか、町内の生活支援事業（協議体）や認知症カフェ、認知症キャラバン、地域サロンなどのコミュニティワークへの参加を通して、外部視点での俯瞰や利用者目線での洞察につながる個々の成長と資質向上を目指していく。

仙南地域の労働人口（2020年時点で9,3万人）は、毎年1,5千人を超えるペースで減り続けており、2040年には6,3万人まで減少する見通しである※。介護事業の存続に必要な労働力を安定的に確保するには長期的な経営戦略に基づく具体的な計画が不可欠であり、法人内での持続的な協議が必要になる。当面の策としては、地域の高年齢者（シニア人材）を活用したタスクシフティング（洗濯や清掃等の間接業務の移管）や70歳までの定年延長などの人員確保策を暫時進めるべきかと思う。他方、労働負担を削減する取り組みとしては、介護ロボットやAIテクノロジー、ICTなどを用いた先進的介護システムの導入のほか、介護ソフトと連動したケア記録の音声入力と見守りセンサー、ノンコア業務からの解放による専門職の業務のスリム化とマネジメントモデルの構築、資源（人・モノ・情報）の見える化とネットワーク化など、生産性向上に向けた諸対策の推進が必要になる。

※将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所 2018年3月推計）

（文責 飯野）

特別養護老人ホーム柏松苑

1. 令和4年度の目標と取組み

① 新型コロナウイルス等の感染症対策の強化

長期化する新型コロナウイルス感染症の水際対策を強化
陽性者発生時の迅速かつ有効な対応を可能とする感染防止システムの最適化
必要な衛生用品、資材の確保(PPガウン、ゴーグル、フェイスシールド、抗原検査キット等)

② 自然災害への対応力強化・組織の強靱化

消防計画、非常災害マニュアルの更新
業務継続計画(BCP)策定
災害対策委員会の見直し、防災訓練の見直し、外部研修活用

③ 介護事故ゼロを目指す安全対策体制の強化

科学的介護情報システム(LIFE)を活用したサービス計画、栄養ケア計画の見直し
リスクを精緻かつ多層的に可視化、バックグラウンドごとのリスク予測、エビデンスの蓄積
LIFE前提での利用者情報(FS等)の見直し、情報共有の工夫(microsoft Onenoteの活用等)

④ 不適切なケア・虐待防止のための教育の見直し

事業所間での体験実習及び交流研修の実施
地域と介護現場の接続(生活支援事業、認知症カフェ、運動サロン等に現場職員が参加)
身体拘束や虐待を防ぐ倫理教育の徹底、インクルージョンや多様性等の価値観の浸透

⑤ 人材確保・タスクシフティングの取り組み

定年延長についての検討
シニア人材を活用したタスクシフティング(洗濯、清掃等の間接業務の移管、業務仕分け)
採用力の向上と人材定着のためのマネジメントの強化(理念の明確化、職員の多様性への配慮等)

⑥ 業務効率化、生産性向上による働きやすい職場づくり

介護ロボット(予測型見守りセンサー)、音声入力システム(voice fun)等の導入
タスクシフティングと連動した専門職の業務のスリム化(ノンコア業務からの解放)
資源(人・モノ・情報)の見える化とネットワーク化、業務の必要性の整理とプロセス再構築

2. 行事予定

	(行事名)	(主な内容)
4月	お花見ドライブ	村田町内桜の名所ドライブ。
	お花見お食事会	桜の花びらの舞う苑庭でお食事会。
5月	野外昼食会	風薫る五月の苑庭でバーベキュー。
	新緑ドライブ	蔵王方面、秋保方面へのドライブ。
	端午の節句御膳	天ぷらや茶碗蒸しのついた御膳を提供。
6月	たこ焼おやつ会	苑庭でたこ焼を焼き、屋台を楽しんでいただく。
	ホーム喫茶	そらまめ祭にリンク。ケーキ、和菓子などのスイーツに舌鼓を打つ。
7月	七夕御膳	天の川をイメージした御膳。
	ホーム喫茶	七夕をイメージしたケーキ、和菓子などを提供。スイーツに舌鼓を打つ。
8月	柏松苑夏まつり	日本の夏。神輿や盆踊りで昭和の夏祭りを再現。
	花火大会	夏の風物詩。夜空に打ち上げ花火と夕涼み。
	ホーム喫茶	夏を感じるようなケーキ、和菓子などを提供。スイーツに舌鼓を打つ。
9月	敬老会	敬老受賞式典、祝い膳で長寿を祝う。
	ふるさと巡り	馴染みある景色を巡り、懐かしむ。
	ホーム喫茶	もみじをイメージしたケーキ、和菓子などを提供。スイーツに舌鼓を打つ。
10月	芋煮会	秋晴れの苑庭で芋煮、バーベキュー、秋刀魚塩焼きに舌鼓を打つ。
	布袋祭り膳	村田町布袋祭りに合わせて御膳を提供。
	ホーム喫茶	ハロウィンをイメージしたケーキ、和菓子などを提供。スイーツに舌鼓を打つ。
11月	紅葉ドライブ	村田町内紅葉の名所ドライブ。
	ホーム喫茶	秋から冬をイメージしたケーキ、和菓子などを提供。スイーツに舌鼓を打つ。
12月	クリスマス忘年会	おいしい食事と催し物で一年を締め括る。
	餅つき会	杵と臼で餅をつき、つきたての餅を振る舞う。
	ホーム喫茶	冬をイメージしたケーキ、和菓子などを提供。スイーツに舌鼓を打つ。
	年越しそば	エビがのった年越しそばを提供。
1月	お屠蘇振舞い	各ユニットをまわり、お屠蘇をふるまう。
	お正月御膳	おせちを提供。
	新年会	新しい年をおいしい食事と催し物で賑やかに迎える。
2月	節分豆まき会	豆をまき、一年の無病息災を祈る。
	節分御膳	恵方巻を提供。
	ホーム喫茶	バレンタインをイメージしたケーキ、和菓子などを提供。スイーツに舌鼓を打つ。
3月	桃の節句御膳	ちらし寿司を提供。
	ホーム喫茶	ホワイトデーをイメージしたケーキ、和菓子などを提供。スイーツに舌鼓を打つ。

3. 会議・委員会

(会議名)	(頻度)	(開催月)	(担当者)
① 運営会議	毎月	第3金曜日	施設長
② 柏松苑全体会議	隔月	偶数月	ケアワーカー主任
③ 安全対策委員会	毎月	第2木曜日	相談員兼ケアマネジャー
④ 感染症対策委員会	年4回	4月、7月、10月、1月	看護師主任
⑤ 災害対策委員会	年4回	5月、8月、11月、2月	施設長
⑥ 虐待防止委員会	年2回	4月、11月	相談員兼ケアマネジャー
⑦ 身体拘束適正化委員会	年4回	5月、8月、11月、2月	相談員兼ケアマネジャー
⑧ 褥瘡予防対策委員会	年3回	5月、9月、2月	看護師
⑨ 看取りケア委員会	年2回	6月、11月	看護師
⑩ 給食サービス会議	年3回	4月、8月、12月	管理栄養士
⑪ リーダー会議	毎月	第3木曜日	ケアワーカー主任
⑫ ユニット会議	隔月	奇数月、随時	ユニットリーダー
⑬ 看護会議	隔月	偶数月、随時	看護師主任
⑭ ソーシャルワーカー会議	隔月	奇数月、随時	相談員兼ケアマネジャー
⑮ 事務会議	隔月	偶数月、随時	事務員
⑯ サービス担当者会議	毎週	毎週水曜日	相談員兼ケアマネジャー
⑰ 苦情解決サービス会議	随時		相談員兼ケアマネジャー
⑱ 入居判定会議	随時		相談員兼ケアマネジャー

4. 研修・訓練

(研修テーマ)	(開催月)	(開催場所)	(担当者)
① 新任職員研修	入職時	相談室	各部署責任者
② 安全対策・事故予防	4月、10月	柏松苑全体会議	相談員兼ケアマネジャー
③ 感染症予防対策	4月、6月、10月、12月	柏松苑全体会議	看護師主任
④ 災害対策	6月、8月	柏松苑全体会議	施設長
⑤ 身体拘束適正化	7月、1月	柏松苑全体会議	相談員兼ケアマネジャー
⑥ プライバシー保護	2月	柏松苑全体会議	相談員兼ケアマネジャー
⑦ ハラスメント防止	10月	柏松苑全体会議	相談員兼ケアマネジャー
⑧ 虐待防止	4月、12月	柏松苑全体会議	相談員兼ケアマネジャー
⑨ 倫理・人権擁護	4月	柏松苑全体会議	施設長
⑩ 看取りのケア	6月	柏松苑全体会議	ケアワーカー主任、看護師
⑪ 接遇マナー	8月	柏松苑全体会議	施設長
⑫ 救急救命	7月	柏松苑全体会議	看護師主任
⑬ ケアマネジメント	12月	ユニット会議	相談員兼ケアマネジャー
⑭ 栄養ケア	8月	ユニット会議	管理栄養士
⑮ 自立支援	8月	ユニット会議	相談員兼ケアマネジャー
⑯ 認知症ケア	2月	ユニット会議	ケアワーカー主任、リーダー
⑰ 口腔ケア	2月	ユニット会議	ケアワーカー主任、看護師
⑱ 褥瘡予防	6月	ユニット会議	ケアワーカー主任、看護師

地域密着型特別養護老人ホーム柏松苑別館穂の香

1. 令和4年度の目標と取組み

① 新型コロナウイルス等の感染症対策の強化

長期化する新型コロナウイルス感染症の水際対策を強化

陽性者発生時の迅速かつ有効な対応を可能とする感染防止システムの最適化

必要な衛生用品、資材の確保(PPガウン、ゴーグル、フェイスシールド、抗原検査キット等)

② 自然災害への対応力強化・組織の強靱化

消防計画、非常災害マニュアルの更新

業務継続計画(BCP)策定

災害対策委員会の見直し、防災訓練の見直し、外部研修活用、非常食の更新(メニュー活用等)

③ 介護事故ゼロを目指す安全対策体制の強化

科学的介護情報システム(LIFE)を活用したサービス計画、栄養ケア計画の見直し

リスクを精緻かつ多層的に可視化、バックグラウンドごとのリスク予測、エビデンスの蓄積

LIFE前提での利用者情報(FS等)の見直し、タイムリーな24Hシートの作成、とろみ剤の統一

④ 不適切なケア・虐待防止のための教育の見直し

事業所間での体験実習及び交流研修の実施

地域と介護現場の接続(生活支援事業、認知症カフェ、運動サロン等に現場職員が参加)

身体拘束や虐待を防ぐ倫理教育の徹底、インクルージョンや多様性等の価値観の浸透

⑤ 人材確保・タスクシフティングの取組み

定年延長についての検討

シニア人材を活用したタスクシフティング(洗濯、清掃等の間接業務の移管、業務仕分け)

採用力の向上と人材定着のためのマネジメントの強化(理念の明確化、職員の多様性への配慮等)

⑥ 業務効率化、生産性向上による働きやすい職場づくり

介護ロボット(予測型見守りセンサー)、音声入力システム(voice fun)等の導入

タスクシフティングと連動した専門職の業務のスリム化(ノンコア業務からの解放)

資源(人・モノ・情報)の見える化とネットワーク化、業務の必要性の整理とプロセス再構築

2. 行事予定（給食イベントを含む）

	(行事名)	(主な内容)
4月	お花見弁当	桜をイメージした御膳。
	桜餅作り	利用者様と共に桜餅作り
	お花見散歩	谷山温泉近隣での桜の鑑賞。
	畑苗植え	季節の野菜を植える。
5月	新緑お祝い御膳	天ぷらや茶碗蒸しのついた御膳。
	たこ焼き作り	利用者様と一緒にたこ焼き作り。
	花植え	季節のお花を植える。
	フラワーアレンジメント	造花を使用し、壁飾り作成等の作成。
6月	パンケーキまつり	利用者様と一緒にフレンチトースト作り。
	染物	和紙を染めて、その後の七夕飾りに使用。
7月	納涼祭	縁日でお祭りの雰囲気味わってもらおう。
	七夕飾り作り	願いをこめての七夕飾り作り。
	七夕御膳	天の川をイメージした御膳。
8月	稲カフェ	ひんやりスイーツを堪能
	花火大会	手持ち花火や噴射花火を鑑賞。
9月	敬老会(茶話会)	家族参加の敬老受賞式典、一緒に茶話会を楽しむ。
	敬老お祝い膳	ご長寿をお祝いした御膳。
10月	芋煮会	芋煮汁とサンマ、穂の香野菜の焼き芋を屋外で。
	茶話会	各ユニットでの茶話会。
	畑収穫祭	利用者様と一緒に収穫を楽しむ。
11月	忘年会(忘年会食)	職員のアトラクション、1年を締めくくる御膳、家族と食事会。
	干し柿作り	利用者様とボランティアの方の交流を含めての柿剥き。
12月	餅つき	餅つきの醍醐味を味わってもらおう。
	ゆず茶作り	ゆず茶を作った後は皆でティータイム。
	年越しそば	エビの乗った年越しそば。
	クリスマス飾り付け	各ユニットでクリスマスにちなんだ飾り付け。
1月	お正月御膳	おせち。
	屠蘇振舞い(獅子舞)	乾坤一を振る舞う、各ユニットをまわり獅子舞で厄除け。
	団子刺し	小正月行事。
	干し柿試食会	干し柿の提供。
2月	豆まき	節分行事、厄除け。
	節分御膳	節分恵方巻き。
	節分製作	各ユニットで節分のちなんだお面や飾り付け。
3月	雛祭り御膳	雛祭りにちなんでちらし寿司。
	桜餅づくり	利用者様と共に桜餅作り
	雛祭り製作	各ユニットで雛祭りにちなんだ飾り付けの作成。

3. 会議・委員会

(会議名)	(頻度)	(開催月)	(担当者)
① 運営会議	毎月	第3金曜日	施設長
② 安全対策委員会	毎月	第1木曜日	相談員兼ケアワーカー
③ 感染症対策委員会	年4回	4月、7月、10月、1月	看護師
④ 災害対策委員会	年4回	5月、8月、11月、2月	ケア主任兼ケアマネジャー
⑤ 虐待防止委員会	年2回	4月、11月	ケア主任兼ケアマネジャー
⑥ 身体拘束適正化委員会	年4回	5月、8月、11月、2月	相談員兼ケアワーカー
⑦ 穂の香ケア会議	隔月	偶数月	ケア主任兼ケアマネ
⑧ 褥瘡予防対策委員会	年3回	5月、9月、2月	看護師
⑨ 看取りケア委員会	年2回	6月、11月	看護師
⑩ 給食サービス会議	年3回	4月、8月、12月	管理栄養士
⑪ リーダー会議	毎月	第4木曜日	ケア主任兼ケアマネ
⑫ ユニット会議	隔月	奇数月	ユニットリーダー
⑬ サービス担当者会議	毎週	毎週木曜日	ケア主任兼ケアマネジャー
⑭ 苦情解決サービス会議	随時		相談員兼ケアワーカー
⑮ 入居判定会議	随時		相談員兼ケアワーカー
⑯ マニュアル策定委員会	随時		相談員兼ケアワーカー
⑰ 運営推進会議	年3回	6月、10月、2月	相談員兼ケアワーカー

4. 研修・訓練

(研修テーマ)	(開催月)	(開催場所)	(担当者)
① 新任職員研修	入職時	相談室	各部署責任者
② 安全対策・事故予防	4月、10月、12月	穂の香ケア会議	相談員兼ケアワーカー
③ 感染症予防対策	4月、6月、10月、12月	穂の香ケア会議	看護師
④ 災害対策	6月、8月	穂の香ケア会議	施設長
⑤ 身体拘束適正化	8月、2月	穂の香ケア会議	相談員兼ケアワーカー
⑥ プライバシー保護	8月	穂の香ケア会議	相談員兼ケアワーカー
⑦ ハラスメント防止	10月	穂の香ケア会議	ケア主任兼ケアマネジャー
⑧ 虐待防止	4月、12月	穂の香ケア会議	ケア主任兼ケアマネジャー
⑨ 倫理・人権擁護	12月	穂の香ケア会議	施設長
⑩ 看取りのケア	6月	穂の香ケア会議	看護師
⑪ 接遇マナー	4月	穂の香ケア会議	施設長
⑫ 救急救命	6月	穂の香ケア会議	ケア主任兼ケアマネジャー
⑬ ケアマネジメント	2月	穂の香ケア会議	ケア主任兼ケアマネジャー
⑭ 栄養ケア	2月	穂の香ケア会議	管理栄養士
⑮ 自立支援	7月	ユニット会議	ユニットリーダー
⑯ 認知症ケア	9月	ユニット会議	ユニットリーダー
⑰ 口腔ケア	11月	ユニット会議	ユニットリーダー
⑱ 褥瘡予防	8月	穂の香ケア会議	ユニットリーダー、看護師

村田町デイサービスセンター

1. 令和4年度の目標と取り組み

① 新型コロナウイルス等の感染症対策の強化

新型コロナウイルス感染症の水際対策を強化

陽性者発生時の迅速かつ有効な対応を可能とする感染防止システムの最適化

必要な衛生用品、資材の確保(PPガウン、ゴーグル、フェイスシールド、抗原検査キット等)

② 自然災害への対応力強化・組織の強靱化

消防計画、非常災害マニュアルの更新

業務継続計画(BCP)策定

災害対策委員会の見直し、防災訓練の見直し、外部研修活用

③ アクティビティと自己選択型プログラムの充実

体操、遊びリテーション、創作活動メニューの見直し

自己選択型プログラム(手芸、大工、カラオケ、書道等)の試行的取り組み

心身機能向上を目的とする運動機能訓練の実施

④ 積極的な地域参加と地域貢献の展開

事業所間での体験実習及び交流研修の実施

地域との接続(生活支援体制整備事業、認知症カフェ、沼辺運動サロン等に参加)

認知症への対応力向上に向けた取り組みと地域へのフィードバック

⑤ 業務効率化、生産性向上による働きやすい職場づくり

介護上のICT化(音声入力システム等の導入)

タスクシフティングと連動した専門職の業務のスリム化(ノンコア業務からの解放)

資源(人・モノ・情報)の見える化とネットワーク化、業務の必要性の整理とプロセス再構築

2. 行事予定

	(行事名)	(主な内容)
4月	お花見 (茶話会)	風流に桜をながめて一服、春の団らん。
5月	デイの庭で畑づくり	植えるのは大根、かぼちゃ、ゴーヤ、紫蘇、はつか大根など。
6月	わたあめおやつ会	昔の思い出に浸りながら。
7月	七夕飾りつけ	青竹に願いごとの飾りつけ。
8月	夏まつり	盆踊り、ゲーム、かき氷、アイスクリーム、焼きそばetc・・・。
9月	たこ焼パーティー	皆でたこ焼を焼いて楽しくパーティー
10月	敬老会	敬老受賞式、記念撮影、舞踊慰問など。
11月	焼き芋会	食欲の秋、ホクホクの焼き芋を頬張ります。
12月	クリスマス週間	シャンメリーで乾杯
1月	新年会	利用者の皆さんと一緒に新春のお祝いをうやうやしく。
2月	節分豆まき	鬼たちに大粒の豆をぶつけ、邪を払い福と春を呼び込む。

3. 創作活動、体操、遊びリレーション

(種類)	(主な内容)
① 体操	棒、タオル、ペットボトル、座位極拳、水戸黄門、ラジオ、玉つき、365歩のマーチ、北国の春、ボールきよしのずんどこ節、表情筋長生き音頭、など
② 遊びリレーション	人間すごろく、羽子板、干支的当て、まちがいさがし、うちわ合戦、ふわらふわら、ホールインワン、ハンドベル(海)、ベンチホッケー、テーブルホッケー、バドミントン、かるた、風船バレー、ゲートボール、手も足もパタパタ、くぎ打ちゲーム、PKサッカー、キックボーリング、物送り、輪投げ、スリッパポイポイ、田植えゲーム、玉入れ、箸使い、糸巻ゲーム、わなげでひっぱれ、ねらってねらって、など

4. 会議・委員会

(会議名)	(頻度)	(開催月)	(担当者)
① 運営会議	毎月	第3金曜日	柏松苑施設長
② デイ会議	毎月	第4火曜日	管理者、センター主任
③ 安全対策委員会	毎月	毎月	管理者、センター主任
④ 感染症対策委員会	年4回	4月、7月、10月、1月	管理者、センター主任
⑤ 災害対策委員会	年4回	5月、8月、11月、2月	管理者、センター主任
⑥ 虐待防止委員会	年4回	4月、11月	管理者、センター主任
⑦ 身体拘束適正化委員会	年4回	5月、8月、11月、2月	管理者、センター主任
⑧ レク会議	毎月	毎月	ケアワーカー

5. 研修・訓練

(研修テーマ)	(開催月)	(開催場所)	(担当者)
① 新任職員研修	入職時	相談室	管理者、センター主任
② 安全対策・事故予防	4月、10月	デイ会議	管理者、センター主任
③ 感染症予防対策	4月、6月、10月、12月	デイ会議	管理者、センター主任、看護師
④ 災害対策	6月、8月	デイ会議	管理者、センター主任
⑤ 身体拘束適正化	7月、1月	デイ会議	管理者、センター主任、看護師
⑥ プライバシー保護	2月	デイ会議	管理者、センター主任
⑦ ハラスメント防止	3月	デイ会議	管理者、センター主任
⑧ 虐待防止	4月、12月	デイ会議	管理者、センター主任
⑨ 倫理・人権擁護	5月	デイ会議	管理者、センター主任
⑩ 接遇マナー	6月	デイ会議	管理者、センター主任
⑪ 救急救命	8月	デイ会議	管理者、センター主任、看護師
⑫ 自立支援	7月	デイ会議	管理者、センター主任
⑬ 認知症ケア	9月	デイ会議	管理者、センター主任、看護師
⑭ 口腔ケア	11月	デイ会議	管理者、センター主任、看護師

谷山介護支援センター

1. 令和4年度の目標と取り組み

① 感染症・災害への対応力強化

日頃からの備えと業務継続に向けた取り組みの推進
非常災害対策(計画策定、関係機関との連携体制の確保、避難等訓練の実施等)
新型コロナウイルス感染症BCP(計画策定、関係機関との連携、感染拡大防止体制の確立)

② 地域包括ケアシステム推進(共通)

地域における公益的な取り組み、運動サロンの活動支援及び地域貢献活動の開発
ケアマネジメントの質の向上、専門職としての資質向上、制度理解による迅速な対応
多様な主体による生活支援サービスが包括的に提供される居宅サービス計画の作成
Webシステム等を活用したケアマネジメントプロセスの推進

③ ケアコーディネーション、コミュニティケア

利用者の心豊かな生活の実現に寄与するマネジメントの実践
住み慣れた地域や自宅で安心した生活が継続できるように支援
行政機関や医療関係機関、他事業所との連携を強化

2. 年間予定

	(イベント名)	(主な内容)
4月	認知症初期集中チーム員会議(偶数月)	認知症初期への包括的支援チーム会議
5月	沼辺サロン(毎月)	沼辺地区の介護予防活動の協力、支援
6月	オレンジカフェ(3か月に1回)	認知症の人や家族が集う場での協力支援
7月	村田町ケアマネジャー連絡会(年3、4回)	スキルアップ研修、交流
8月	村田町事業所連絡会(年2回程度)	事業所のスキルアップ研修、交流
9月	村田町地域ケア推進会議(年3、4回程度)	地域包括ケアシステム構築に向けた会議
10月	蔵王町地域ケア推進会議(年3、4回程度)	地域包括ケアシステム構築に向けた会議
11月	村田町認知症サポーター養成講座(年2回)	キャラバンメイトの一員として学習会に参加
12月	他法人との事例検討会(年2回)	居宅支援事業所あいやまとの事例検討会
1月	仙南保福主催の研修会(年2回)	認知症や権利擁護等スキルアップ研修会
2月	仙南ケアマネジャー協会主催研修会(年2回)	認知症や権利擁護等スキルアップ研修会
3月	柴田町ケアマネジャー連絡会(年3回程度)	スキルアップ研修、交流

2. 会議・委員会

(会議名)	(頻度)	(開催月)	(担当者)
① 運営会議（管理者参加）	毎月	第3金曜日	柏松苑施設長
② 感染症対策委員会	年4回	4月、7月、10月、1月	管理者、ケアマネジャー
③ 虐待防止委員会	年4回	5月、8月、11月、2月	管理者、ケアマネジャー
④ 災害対策委員会	年4回	6月、9月、12月、3月	管理者、ケアマネジャー
⑤ 谷山会議	毎月	第4火曜日	管理者、ケアマネジャー
⑥ 週ミーティング	毎週	毎週月曜日	管理者、ケアマネジャー

3. 研修・訓練

(1) 職場内研修

(研修テーマ)	(開催月)	(開催場所)	(担当者)
① 新任職員研修	入職時	相談室	管理者
② 安全対策・事故予防	5月	谷山会議	管理者、ケアマネジャー
③ 感染症予防対策	6月	谷山会議	管理者、ケアマネジャー
④ 災害対策	7月	谷山会議	管理者、ケアマネジャー
⑤ ケアコーディネーション	8月	谷山会議	管理者、ケアマネジャー
⑥ プライバシー保護	9月	谷山会議	管理者、ケアマネジャー
⑦ ハラスメント防止	10月	谷山会議	管理者、ケアマネジャー
⑧ 倫理・人権擁護	11月	谷山会議	管理者、ケアマネジャー
⑨ 接遇マナー	12月	谷山会議	管理者、ケアマネジャー
⑩ 救急救命	1月	谷山会議	管理者、ケアマネジャー

(2) 個別研修

(研修テーマ)	(開催月)	(開催場所)	(担当者)
① 医療連携について	6月	相談室	管理者、ケアマネジャー
② 介護予防と自立支援	9月	相談室	管理者、ケアマネジャー
③ 認知症ケア（共生共存）	11月	相談室	管理者、ケアマネジャー
④ 接遇マナー	2月	相談室	管理者、ケアマネジャー
⑤ 介護保険制度概論	3月	相談室	管理者、ケアマネジャー